

株式会社 ITS MORE

2020年4月設立

ITS more

2020年10月14日 投稿者: SATOXITS

vin 発掘

社長：セブンでタバコ買ってきました。

基盤：ドラッグストアは10時からなのが残念なところですね。

社長：昨日ココスに行ったら10時開店になってびっくりしました。でもそのぶん、メニューがまともになってました。

開発：時代に合わなくなった無理な体制を惰性で続けるのって良くないんでしょうね。ここに越してくる前には、メニューがかなり劣化してましたっけ。

社長：10時に開店して即ランチメニューというのはいい線なのかも知れません。大概のコンビニも7-11で良いような気がします。

開発：クロネコみたいなドラスティックな見直しが必要なのかも知れませんね。

社長：タバコだけでもなんなので、おいしい牛乳を買いました。なんと、450mlのキャップもこの、でっぱり付きになってるのに気づきました。

開発：このキャップは素晴らしいですね。

基盤：でも450mlパックはこの紙を押して広げて引っ張って角から直接ごくごく飲むところが良いのだと思うんですが。升酒的な。

開発：まあそれを言うなら、大きな牛乳パックはそもそもペットボトルでいいんじゃない

ね?っていうところがあります。

社長：レトルトカレーのレンジ対応とか、何十年も不便が当たり前と思われてたのが突然解消されることってありますね。

基盤：クリとか生卵もレンジ対応のができると良いですね。遺伝子組み換えして。

開発：たぶん、種無しなんか系と同じで、本来の味とか食感を損なっちゃうんじゃないですかねえ。

社長：まあ、少なくとも、風情が損なわれることは避けられないでしょう。

開発：風情は不完全さとか不便さとか非合理性から生まれますよね。

マンデルブロー色ピッカー

社長：それで、セブンで買い物してるときに、今日はマンデルブローをやりたいなと思いました。

開発：まあ一種の万華鏡ですかね。

社長：意図的な構造とか重ね合わせが無いところが残念ですけどね。でもたとえば、ある区画を切り取った時の全体の色合いがよかったら、そこから配色見本を作るのも良いかなと。

基盤：実装の手間とか処理の負荷はどうなんでしょうか？

社長：30年前頃に流行ったんですが、当時のワークステーションの能力で普通に書けた気がします。私はキャラクタ端末用に自作しましたよ。Cインタプリタ内蔵のニュースリーダーの余興記事の形で。

開発：まあ処理量はピクセル数に比例しますよね。1000 x 1000 は軽くは無いのでは。JavaScriptで書くのが重かったら、GoからWebAssemblyにするとか、データ作成はGshellのネイティブコードGoパートに投げるとかにありかと思います。

社長：各実装の性能を比較するベンチマークにも良さそうですね。

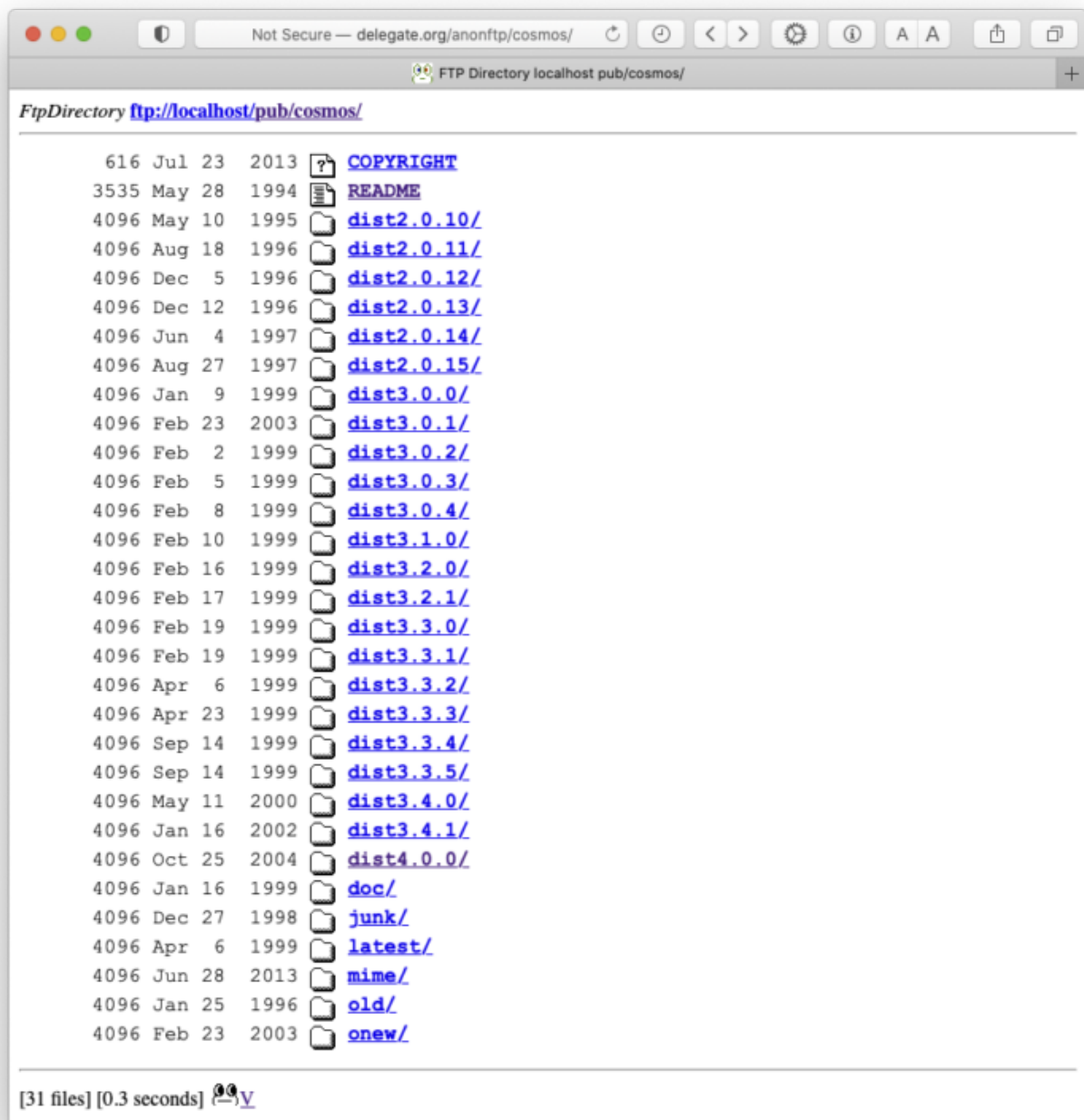
vin発掘

社長：それで、30年くらい前に作ったやつを参考にしたいかなと思うので、10年ぶりにvinを動かしてみようかなと。

基盤：それに時間をとられて終わりそうな懸念が。

社長：まあそれもいいじゃないですか。骨休め骨休め。

基盤：HTTPのログに出てくるので在り処は知ってます。ああ、ここですね。



基盤：最終2004年版にはmacOS版もあるようです。どれ、ダウンロードして実行…ありゃ。

社長：動きませんか。

基盤：PPC用でした。残念！

開発：Intel版も作った記憶がありますが。

社長：公開はしなかったかもですね。ソースはありますよね。

基盤：これですかね。make… コンパイルエラーが。これって、K & R みたいですね？

社長：まあ、Cといえばそれしか無かった時代に作りましたからね。K & R なんていう形容詞ありませんでした。

基盤：タイムスタンプを見る…

```
MacMini% ls -latd */* | tail
-rw-r--r--  1 ysato  staff    254 Feb 26  1988 VIA/calendar.g
-rw-r--r--  1 ysato  staff    882 Dec 17  1987 VIA/jissym.c
-rw-r--r--  1 ysato  staff    107 Aug 11  1987 SSE/editcurs.h
-rw-r--r--  1 ysato  staff     52 May  7  1987 UCI/icon.c
-rw-r--r--  1 ysato  staff   1933 May  7  1987 UCI/icon.h
-rw-r--r--  1 ysato  staff   3583 May  7  1987 GEN/cnode.h
-rw-r--r--  1 ysato  staff    547 May  7  1987 SCI/subsci.c
-rw-r--r--  1 ysato  staff   1931 May  7  1987 SSE/sseswap.c
-rw-r--r--  1 ysato  staff   3010 May  7  1987 SSE/ntrav.c
-rw-r--r--  1 ysato  staff    405 May  7  1987 LIBS/psystem.c
MacMini%
```

基盤：1987年の3月のファイルが最古のようです。

社長：まだ就職前ですね。

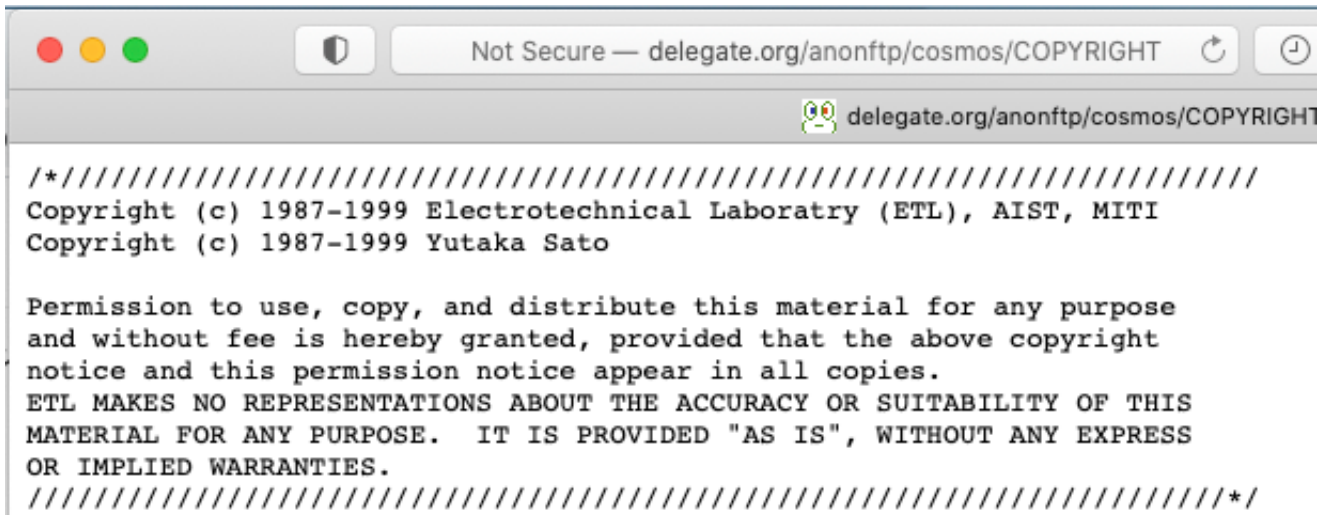
開発：てか、ようやく内定がもらえた頃とかw

社長：あの時あそこに就職できてなかったら全然違う人生が開けてたでしょうね。

基盤：これってどういうライセンス形態なんでしょう？

社長：ftp の pub っていう名前のフォルダに置いたし、パブリックドメインのつもりだったような。

基盤：ああ、COPYRIGHTというファイルにこのようにあります。



```
Not Secure — delegate.org/anonftp/cosmos/COPYRIGHT
delegate.org/anonftp/cosmos/COPYRIGHT
/*
Copyright (c) 1987-1999 Electrotechnical Laboratory (ETL), AIST, MITI
Copyright (c) 1987-1999 Yutaka Sato

Permission to use, copy, and distribute this material for any purpose
and without fee is hereby granted, provided that the above copyright
notice and this permission notice appear in all copies.
ETL MAKES NO REPRESENTATIONS ABOUT THE ACCURACY OR SUITABILITY OF THIS
MATERIAL FOR ANY PURPOSE. IT IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT ANY EXPRESS
OR IMPLIED WARRANTIES.
*/
```

社長：ちなみに、ETL=電総研、AIST=工業技術院、MITI=通商産業省です。

開発：電総研から外に出すためのケジメが必要だったんですかね。

社長：そもそもソフトウェアの知財権が100%研究所のものになるってなったのは、産総研になってからのような気がします。その前は明文化されてなかったというか。書籍みたいな著作物扱いだったのかも。

開発：あの頃は、利用許諾書に双方管理責任者のサインをもらってカートリッジテープで配布してました。

社長：でもこの文章はたしか、N. Bolenstein の metamail のやつをコピペしただけだったように記憶しています。

基盤：もろ定型文ですね。

開発：まあでも、学生時代に書いた分は社長個人に完全帰属していることは確かです。

基盤：Linux版のバイナリは2.2.5だし動くかもしれませんね。

```
ysato@ul8a:~/cosmos$ file vin-*
vin-linux-rh71: ELF 32-bit LSB executable, Intel 80386, version 1 (SYSV), dynamically linked, interpreter /lib/ld-linux.so.2, for GNU/Linux 2.2.5, not stripped, too many notes (256)
vin-macosx-102: Mach-O ppc executable, flags:<NOUNDEFS|DYLDLINK|TWOLEVEL>
ysato@ul8a:~/cosmos$
```

基盤：ああ。このUbuntu 18、OSが64ビット版だから、32ビット版を実行形式として認識してくれない模様。

開発：当時のRedHatのisoでVMすれば動くのでは。

社長：確か2000年頃がRedHat 6.1だったと思います。パッケージで買いました。終わりの頃は7だったかも。

基盤：じゃま、6.2Jにしておきます。633MB。



基盤：おおー、さすが、カネにならないアーカイブサーバのせいかダウンロードおっそいですねー。

開発：でもちゃんとアーカイブを公開してくれているだけで偉いと思います。

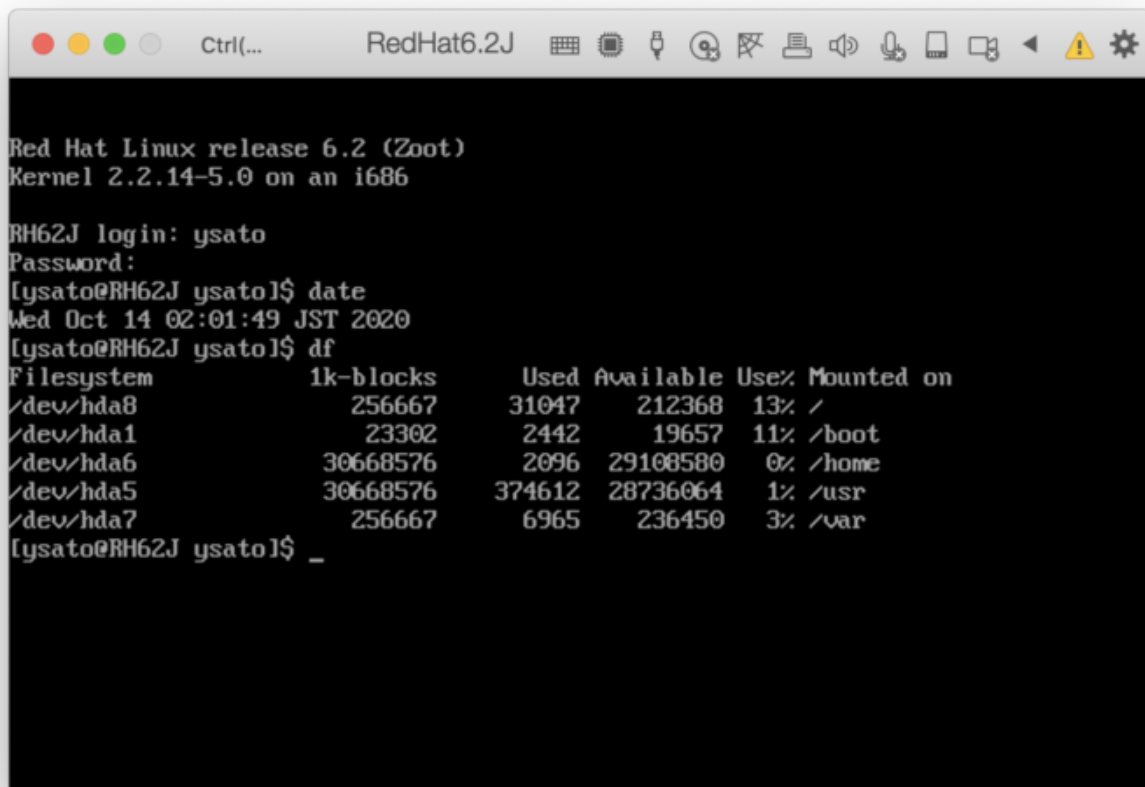
基盤：ダウンロード終了。インストールします。

```
RedHat6... Welcome to Red Hat Linux 6.2J!  
o To install or upgrade a system running Red Hat Linux 2.0  
  or later in graphical mode, press the <ENTER> key.  
o To install or upgrade a system running Red Hat Linux 2.0  
  or later in text mode, type: text <ENTER>.  
o To enable expert mode, type: expert <ENTER>. Press <F3> for  
  more information about expert mode.  
o To enable rescue mode, type: linux rescue <ENTER>. Press <F5>  
  for more information about rescue mode.  
o If you have a driver disk, type: linux dd <ENTER>.  
o Use the function keys listed below for more information.  
  
[F1-Main] [F2-General] [F3-Expert] [F4-Kernel] [F5-Rescue]  
boot: _
```

開発：くあー懐かしい。

社長：というか懐かしさを通り越して忘れかけてますが。text <ENTER> で。

基盤：今どきのOSなら全部デフォルトで自動インストールの事を、色々聞いてきますね。でも、わかりやすいインターフェイスではあります。出来ました。所要数分。



```
Red Hat Linux release 6.2 (Zoot)
Kernel 2.2.14-5.0 on an i686

RH62J login: ysato
Password:
[ysato@RH62J ysato]$ date
Wed Oct 14 02:01:49 JST 2020
[ysato@RH62J ysato]$ df
Filesystem      1k-blocks    Used Available Use% Mounted on
/dev/hda8        256667      31047   212368   13% /
/dev/hda1         23302       2442    19657   11% /boot
/dev/hda6       30668576     2096  29108580    0% /home
/dev/hda5       30668576   374612  28736064    1% /usr
/dev/hda7        256667       6965   236450    3% /var
[ysato@RH62J ysato]$ _
```

基盤：あー、でもネットワークつながらないですね。ssh も無い。

開発：ftpでしょう。

基盤：あー、route が無いですね。ether インタフェースも検出されてない模様。

社長：ググってみては。

開発：VMwareならいけるかも。

基盤：今更時間の無駄だと思います。ubuntu の 32ビット版で試してみたいと思います。

開発：当時のだと fedora が良いかもです。

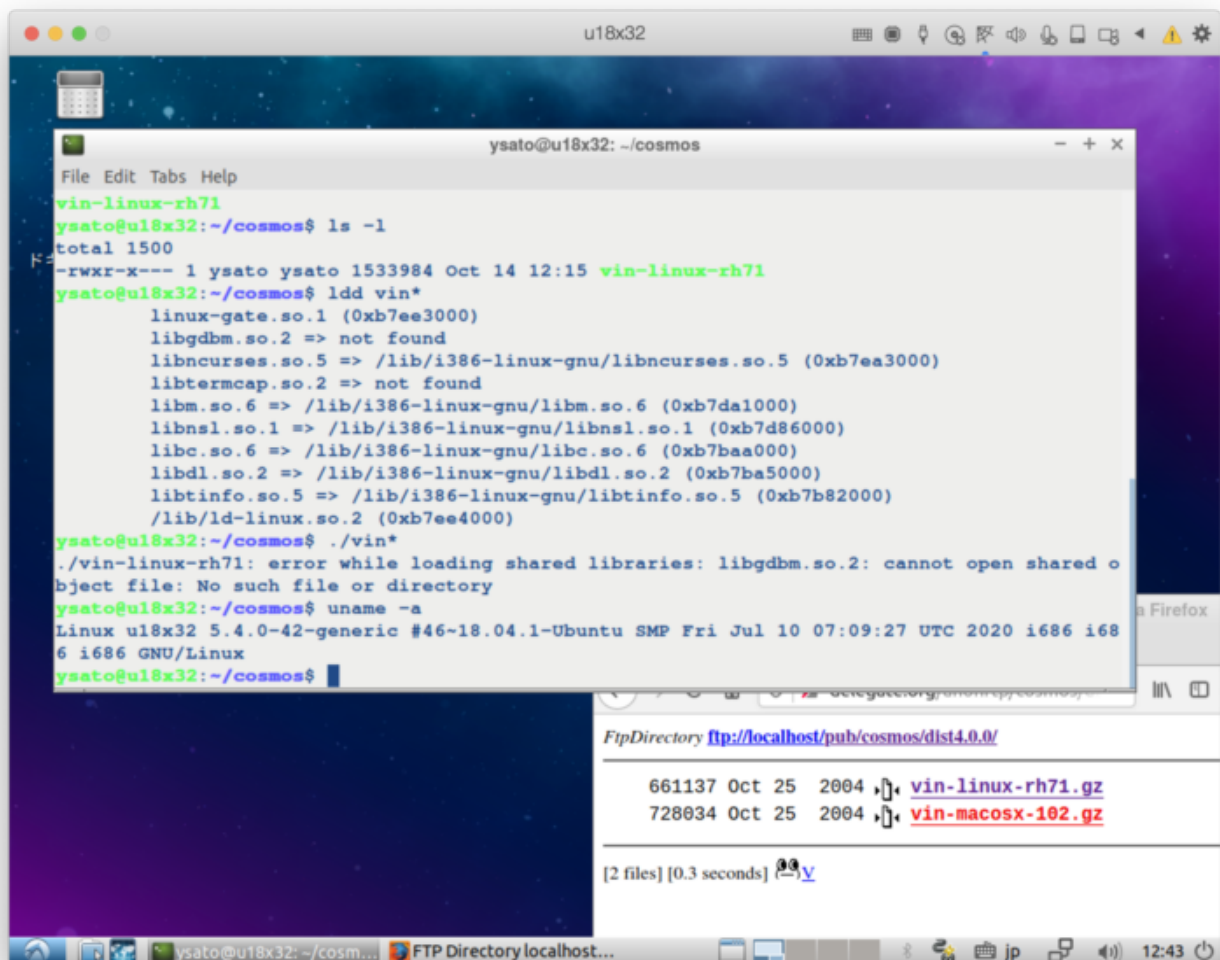
基盤：今のubuntuで行けるのではないかと。

* * *

基盤：どうも64ビット版のubuntu 18と全然違うので面食らうのですが、とりあえず環境はできました。あと、どうも設定を変えた後にSTOPしてParallelsごと再起動しないと画面が真っ暗状態なのが意味不明です。

開発：ともかく実行してみましょう。

基盤：./vin* ...



```
ysato@u18x32: ~/cosmos
File Edit Tabs Help
vin-linux-rh71
ysato@u18x32:~/cosmos$ ls -l
total 1500
-rwxr-x--- 1 ysato ysato 1533984 Oct 14 12:15 vin-linux-rh71
ysato@u18x32:~/cosmos$ ldd vin*
linux-gate.so.1 (0xb7ee3000)
libgdbm.so.2 => not found
libncurses.so.5 => /lib/i386-linux-gnu/libncurses.so.5 (0xb7ea3000)
libtermcap.so.2 => not found
libm.so.6 => /lib/i386-linux-gnu/libm.so.6 (0xb7da1000)
libnsl.so.1 => /lib/i386-linux-gnu/libnsl.so.1 (0xb7d86000)
libc.so.6 => /lib/i386-linux-gnu/libc.so.6 (0xb7baa000)
libdl.so.2 => /lib/i386-linux-gnu/libdl.so.2 (0xb7ba5000)
libtinfo.so.5 => /lib/i386-linux-gnu/libtinfo.so.5 (0xb7b82000)
/lib/ld-linux.so.2 (0xb7ee4000)
ysato@u18x32:~/cosmos$ ./vin*
./vin-linux-rh71: error while loading shared libraries: libgdbm.so.2: cannot open shared object file: No such file or directory
ysato@u18x32:~/cosmos$ uname -a
Linux u18x32 5.4.0-42-generic #46-18.04.1-Ubuntu SMP Fri Jul 10 07:09:27 UTC 2020 i686 i686 GNU/Linux
ysato@u18x32:~/cosmos$
```

FTP Directory <ftp://localhost/pub/cosmos/dist4.0/>

661137	Oct 25	2004	📄	vin-linux-rh71.gz
728034	Oct 25	2004	📄	vin-macosx-102.gz

[2 files] [0.3 seconds] 📄 Y

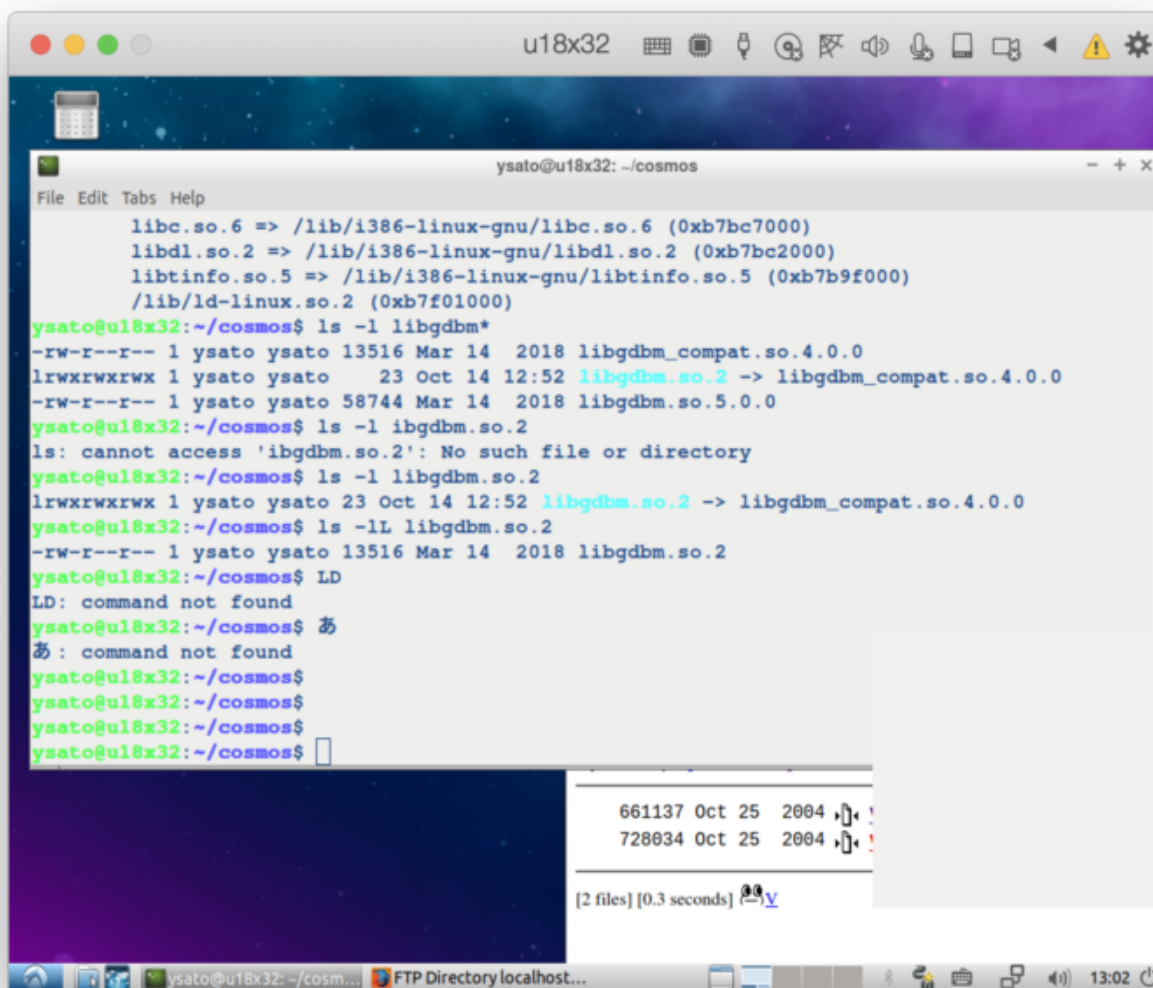
社長、開発：おおーっ。

社長：無いといっている gdbm はまあ無くても動くかなという程度だと思います。
termcap は無いと困りますが、シンプルなライブラリだしなんとかなると思います。

* * *

社長：どうでしょう？

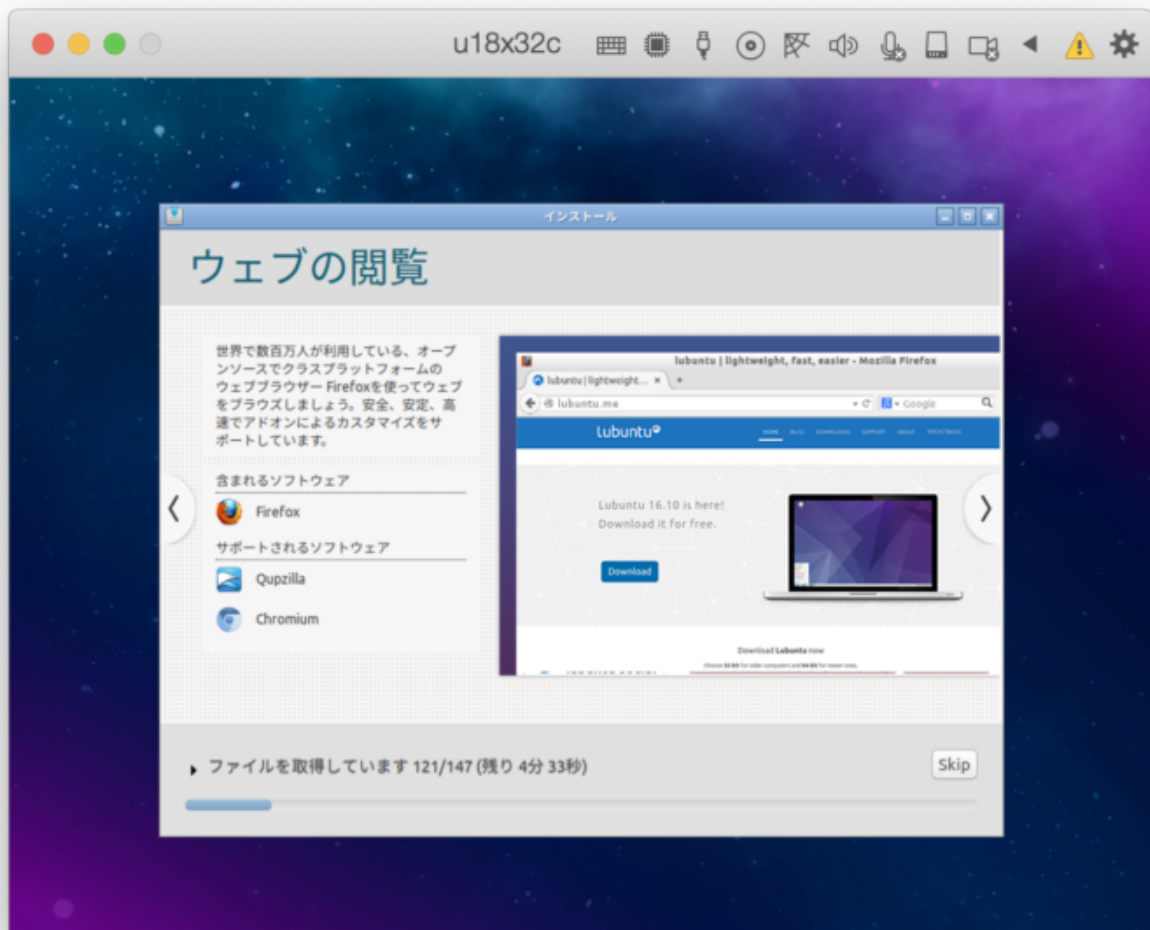
基盤：言語環境の設定を変えたらフリーズしてしまい、またまっくら状態になって今度は回復できずUbuntu VMの画面が真っ暗になってしまったので、インストールし直しています。



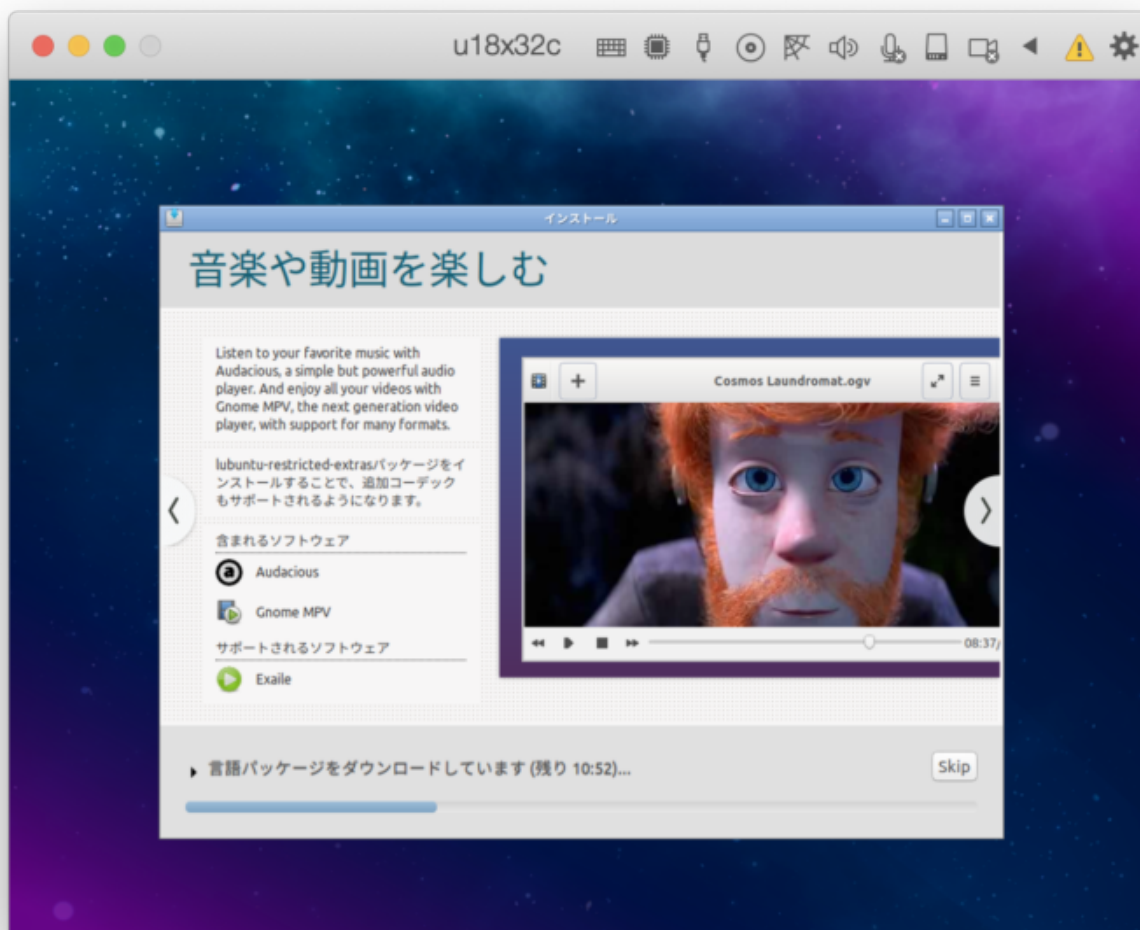
```
u18x32
ysato@u18x32: ~/cosmos
File Edit Tabs Help
libc.so.6 => /lib/i386-linux-gnu/libc.so.6 (0xb7bc7000)
libdl.so.2 => /lib/i386-linux-gnu/libdl.so.2 (0xb7bc2000)
libtinfo.so.5 => /lib/i386-linux-gnu/libtinfo.so.5 (0xb7b9f000)
/lib/ld-linux.so.2 (0xb7f01000)
ysato@u18x32:~/cosmos$ ls -l libgdbm*
-rw-r--r-- 1 ysato ysato 13516 Mar 14 2018 libgdbm_compat.so.4.0.0
lrwxrwxrwx 1 ysato ysato 23 Oct 14 12:52 libgdbm.so.2 -> libgdbm_compat.so.4.0.0
-rw-r--r-- 1 ysato ysato 58744 Mar 14 2018 libgdbm.so.5.0.0
ysato@u18x32:~/cosmos$ ls -l ibgdbm.so.2
ls: cannot access 'ibgdbm.so.2': No such file or directory
ysato@u18x32:~/cosmos$ ls -l libgdbm.so.2
lrwxrwxrwx 1 ysato ysato 23 Oct 14 12:52 libgdbm.so.2 -> libgdbm_compat.so.4.0.0
ysato@u18x32:~/cosmos$ ls -lL libgdbm.so.2
-rw-r--r-- 1 ysato ysato 13516 Mar 14 2018 libgdbm.so.2
ysato@u18x32:~/cosmos$ LD
LD: command not found
ysato@u18x32:~/cosmos$ あ
あ: command not found
ysato@u18x32:~/cosmos$
ysato@u18x32:~/cosmos$
ysato@u18x32:~/cosmos$
ysato@u18x32:~/cosmos$
```

開発：スナップショットをとっておけばよかったですね。

基盤：今度はそうします。



社長：世界中で数百万人というのは微妙な数ですね。



基盤：とにかくこの言語パッケージというのが巨大で。IMEが邪魔なので外そうとしたら固まってしまいました。

* * *

基盤：うーん、やっぱり動的ライブラリが解決できないですね。RedHatからライブラリだけもって来たんですが。絶対パスのものもあるし…

開発：昔のFedoraではどうですかね。一時期はあれが一番インストールが楽でした。

基盤：Fedoraをインストール…

* * *

基盤：やっぱり動的ライブラリが。GCC関係でバージョンが合わないとか。静的リンク版は無いんでしょうか？

開発：DeleGateでは作りましたが、vinではやらなかったかもですね。あれ？逆かな？

社長：やっぱり当時のRedHatでVMじゃないですかね。もいっかいトライしてダメなら諦めましょう。

基盤：うーん。。。vin/cosmosの配布ディレクトリには RedHat7.1だって書いてありますね。じゃあこれを…

* * *

基盤：やっぱりeth0が認識されません。

開発：VMwareならどうでしょう？

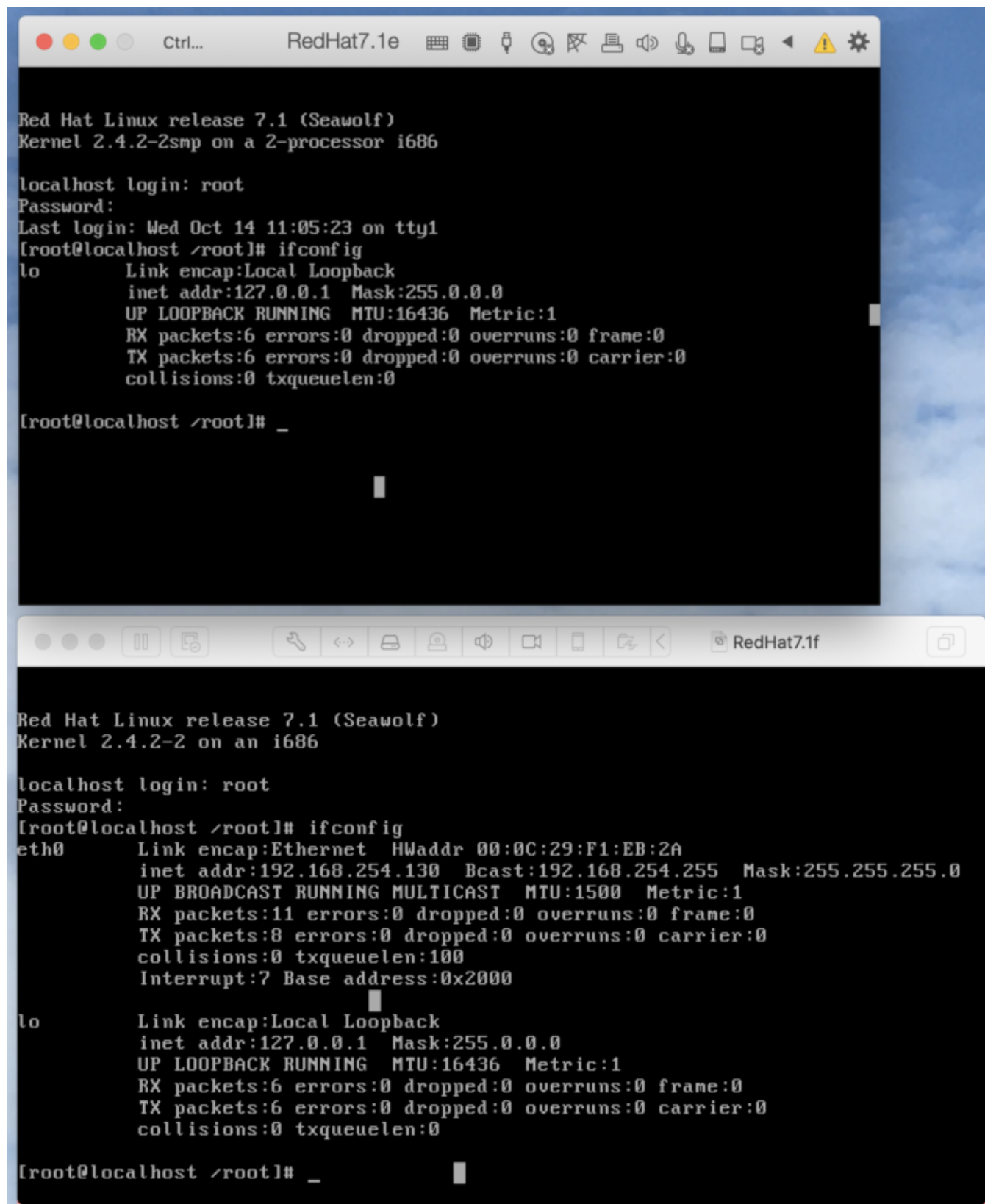
基盤：VMware Fusion、2ヶ月無償トライアルでやります。インストール… 終了。RedHat7.1 Seawolf をインストール…

基盤：インストールはサクッと終わるんですが、GUIモードだと、起動すると真っ暗です。インストール前にテストモードすると、ちゃんと表示されるものの無限ループになるし…

社長：X Windowは無しにしましょう。

基盤：再インストール… これ、さくさく進行ではあるんですが、毎回アカウントとパスワードを入れ直すのがかったるいです… 起動。

社長、基盤：おおーっ。



```
Red Hat Linux release 7.1 (Seawolf)
Kernel 2.4.2-2smp on a 2-processor i686

localhost login: root
Password:
Last login: Wed Oct 14 11:05:23 on tty1
[root@localhost /root]# ifconfig
lo          Link encap:Local Loopback
            inet addr:127.0.0.1  Mask:255.0.0.0
            UP LOOPBACK RUNNING  MTU:16436  Metric:1
            RX packets:6 errors:0 dropped:0 overruns:0 frame:0
            TX packets:6 errors:0 dropped:0 overruns:0 carrier:0
            collisions:0 txqueuelen:0

[root@localhost /root]# _

Red Hat Linux release 7.1 (Seawolf)
Kernel 2.4.2-2 on an i686

localhost login: root
Password:
[root@localhost /root]# ifconfig
eth0       Link encap:Ethernet  HWaddr 00:0C:29:F1:EB:2A
            inet addr:192.168.254.130  Bcast:192.168.254.255  Mask:255.255.255.0
            UP BROADCAST RUNNING MULTICAST  MTU:1500  Metric:1
            RX packets:11 errors:0 dropped:0 overruns:0 frame:0
            TX packets:8 errors:0 dropped:0 overruns:0 carrier:0
            collisions:0 txqueuelen:100
            Interrupt:7 Base address:0x2000

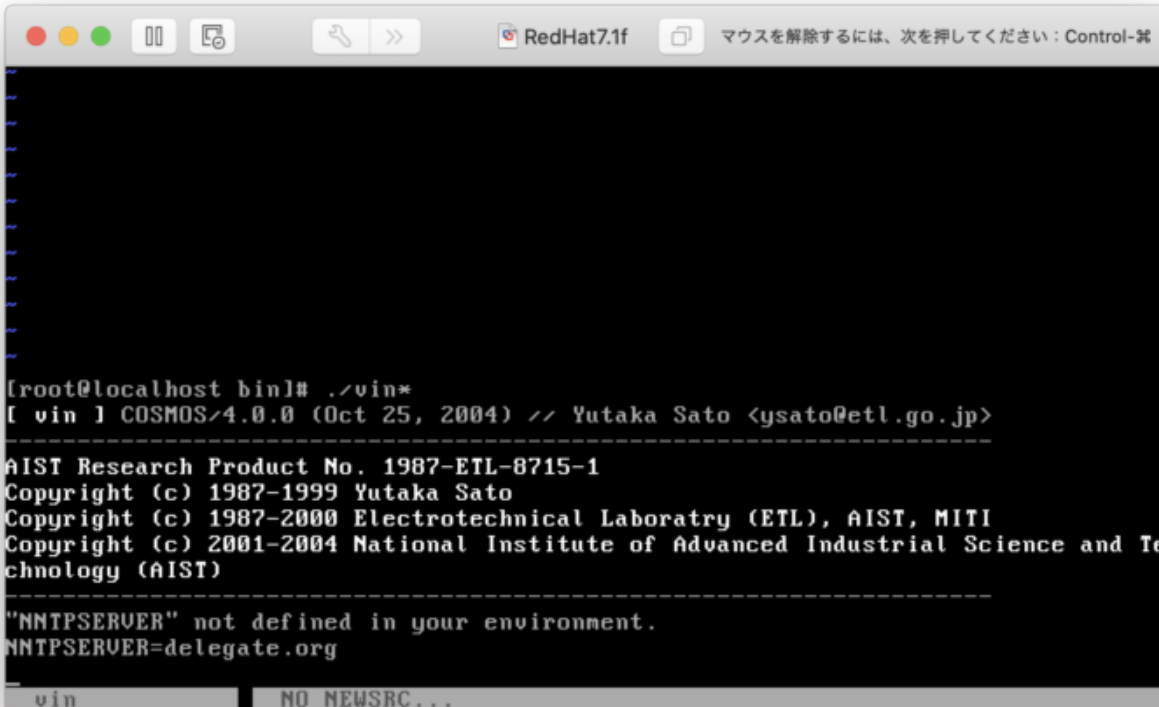
lo         Link encap:Local Loopback
            inet addr:127.0.0.1  Mask:255.0.0.0
            UP LOOPBACK RUNNING  MTU:16436  Metric:1
            RX packets:6 errors:0 dropped:0 overruns:0 frame:0
            TX packets:6 errors:0 dropped:0 overruns:0 carrier:0
            collisions:0 txqueuelen:0

[root@localhost /root]# _
```

基盤：立ち上がりました。eth0 認識されてます。

開発：さーすがVMwareっ (^-^)/

基盤：ではさっそく、ftpで配布ファイルセットをダウンロード… そして起動。



```
[root@localhost bin]# ./vin*
[ vin ] COSMOS/4.0.0 (Oct 25, 2004) // Yutaka Sato <ysato@etl.go.jp>
-----
AIST Research Product No. 1987-ETL-8715-1
Copyright (c) 1987-1999 Yutaka Sato
Copyright (c) 1987-2000 Electrotechnical Laboratory (ETL), AIST, MITI
Copyright (c) 2001-2004 National Institute of Advanced Industrial Science and Te
chnology (AIST)
-----
"NNTPSERVER" not defined in your environment.
NNTPSERVER=delegate.org

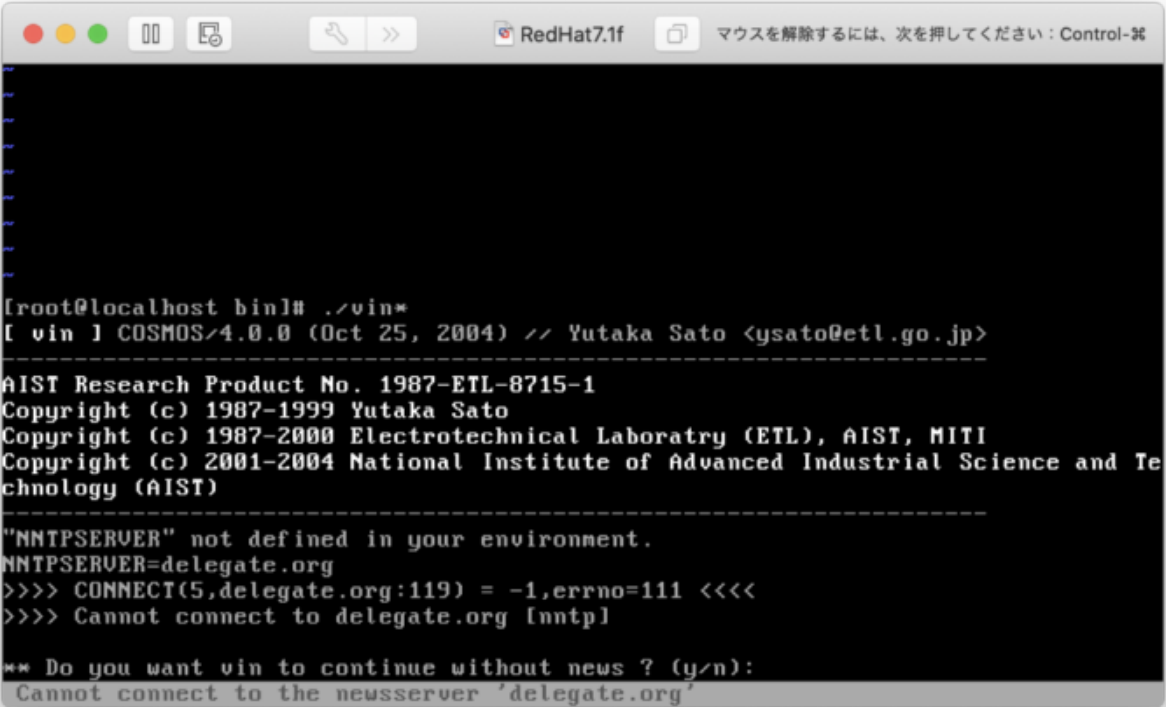
vin NO NEWSRC...
```

基盤：なんか、NNTPSERVER が無いと起動しないと言っていますが。

社長：それはスキップできるようにしたと思いますが…

基盤：うーん。よくわからない。delegate.org?。ガチャガチャガチャ… 帰ってきませんね。

基盤：あ、応答ありました。



```
[root@localhost bin]# ./vin*
[ vin ] COSMOS/4.0.0 (Oct 25, 2004) // Yutaka Sato <ysato@etl.go.jp>
-----
AIST Research Product No. 1987-ETL-8715-1
Copyright (c) 1987-1999 Yutaka Sato
Copyright (c) 1987-2000 Electrotechnical Laboratory (ETL), AIST, MITI
Copyright (c) 2001-2004 National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST)
-----
"NNTPSERVER" not defined in your environment.
NNTPSERVER=delegate.org
>>> CONNECT(5,delegate.org:119) = -1,errno=111 <<<<
>>> Cannot connect to delegate.org [nntp]

** Do you want vin to continue without news ? (y/n):
Cannot connect to the newsserver 'delegate.org'
```

社長：イエス、オフコース。

基盤：ぶち。

```

B: ysato (BL2)09/28-23:42 B$0$8$a$F#v#i#n#r:H$&?M$N$?$a$K
B#v#i#n$0!"%+!<=>~k$N>e2<0\F0(B#j!$#k)B!"%0%k!<~W$d5-;v$Nn~Br$HC&=P(B#i!$
B#o)B%3%~^%s%I!"$*$h$S=*N;(B#q)B$0$1$G!"0l1~;H$&$3$H$, $G$-$^$9!#

B!#!9TC10L$N0\F0!#!#j,B#k!#!2<$N9T$X(j),B>e$N9T$X(k)B!!(B%+!<=>~k%~!<$b2D)
B!#!JGC10L$N0\F0!#!SP,B#b!#!<~$NjG$X(sp),B#0$NjG$X(b)
B!#!3,AX4U$N0\F0!#!#i,B#o!#!$=$l$KF~$k(in),B$3$3$+$i=P$k(out)
B!#!#v#i#n$N=*N;#!#q,B#Q!#!0LC6:G>e0L$KLa$C$F=*N;(q),BB(:B$K=*N;(Q)

B!#!#v#i#n#r5/F0$9$k$H!":G=i$K%0%k!<~W$N:G>e0L$N3,AX$,%j%9%~H$5$l$^$9!#
BF!$_$?$$%0%k!<~W$K#jB$dB#k$B$G%+!<=>~k$r$"$o$;!#B#iB$rBG$F$P$=$N%0%k!<~W$K
BF~$j$^$9!#
B!#!$3$l$r7+$jJU$7$F$/$H!"$d$, $F5-;v$N%j%9%~H$,8=$l$^$9!#5-;v$N%j%9%~H
B$N>e$GF!$_$?$$5-;v$K%+!<=>~k$r$"$o$;!#i$G$=$N5-;v$KF~$j$^$9!#
B!#!5-;vCf$N%a%C%~!<~8IDB$N>e$G#i$rBG$D$H$=$N5-;v$KF~$j$^$9!#85$N5-;v$K
BLa$k$K$D$O$R$E$T$U$R$N$B$rBG$A$^$9!#
B!#!5U$K5-;v$d%0%k!<~W$r>e$XH4$1=P$7$F9T/$?$a$N%3%~^%s%I$,B#oB$G$9!#

B!#!SPACEB$*$h$SB#bB$0%Z!<~8$a$/ $j$G$9!#=*N:$OB#qB$^$?OB#QB$G$9!##Q$G=*$k$H!"
B<!$N#v#i#n$0A02s$N=*N;~$N>l=j$+$i;0$^$j$^$9!#

B!#!%3%~^%s%I0Lm$0^HsB$G8+$i$l$^$9!#>~$7$QbL0$0cosmos.vin.manualB!"%P!<
B%8%g%~%C%W)pJs$0cosmos.vin.historyB$H$&$&%0%k!<~W$K$"$j$^$9!#
B:F$S$3$N%~$%s%~H%~m%0%~%~%7%g%~s$r8+$?$$H$-$0!"^HiB$HBG$C$F2<$5$!#

[-----] cosmos.vin.manual:8 (23) Hit 'q' to go to top level

```

全員：おおーっ！

社長：20年の時を隔ててここに復活！

開発：まあ20年前の環境で、ですけどね。

社長：VMは偉大なり。

基盤：立ち上がりましたね。字化けしてますが。

社長：これはコンソールだから、ASCIIオンリーなんじゃないですかね。リモートログインしましょう。

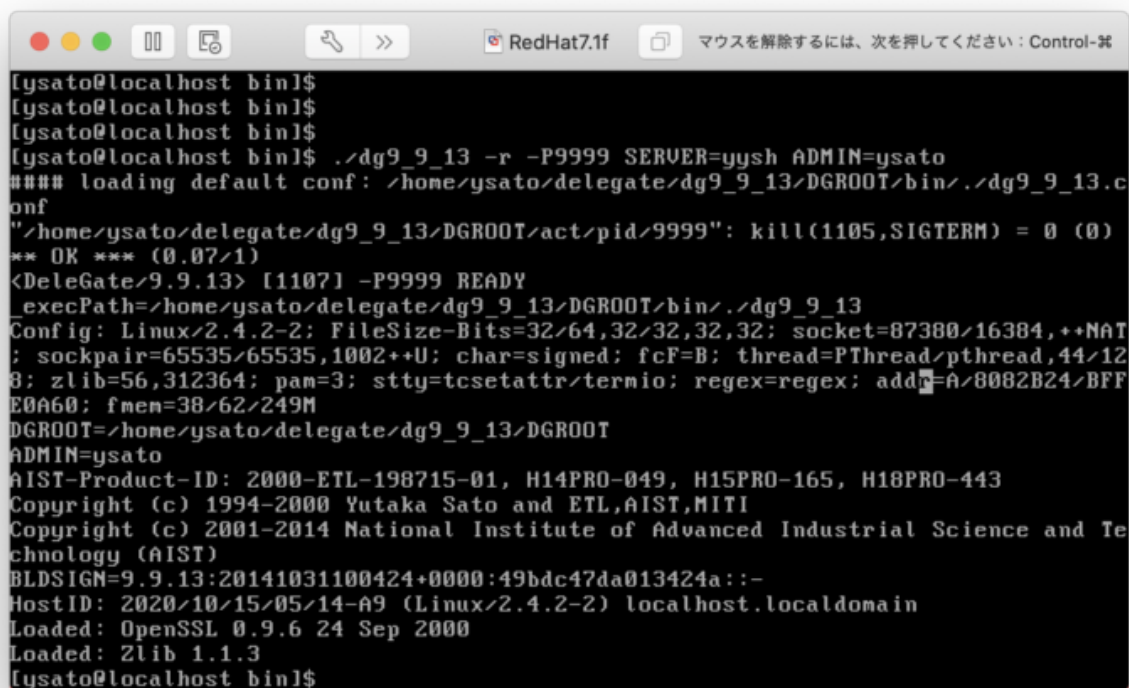
基盤：telnet か rlogin でしょうか？サーバの立て方が…

社長：いや、DeleGate の yysh で良いと思います。RedHat7.1 で DeleGate9.9.13 は動くはず。

基盤：RedHat7.1はLinux/2.4ですね。ではDeleGateのバイナリ配布、2.4版をダウンロード…

社長：yyshサーバの起動オプションは -P9999 SERVER=yysh です。

基盤：起動…



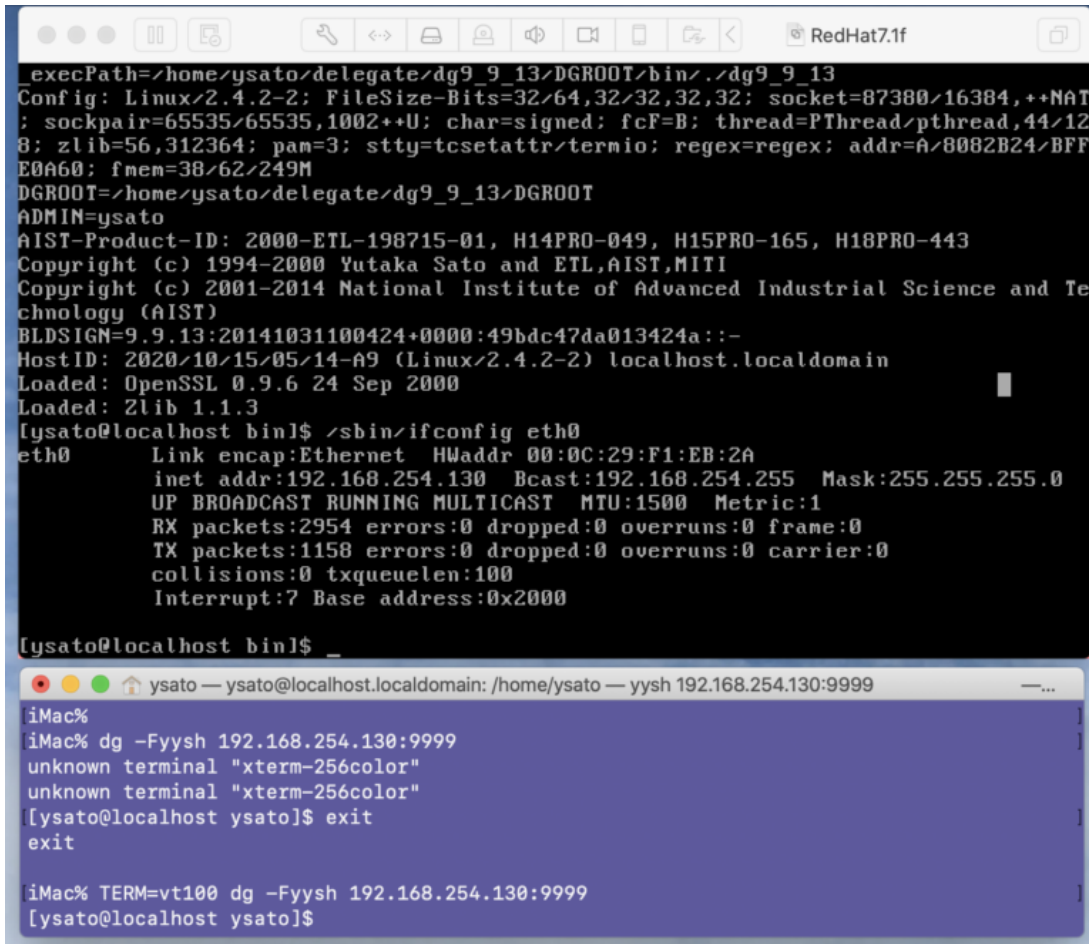
```
[ysato@localhost bin]$
[ysato@localhost bin]$
[ysato@localhost bin]$
[ysato@localhost bin]$ ./dg9_9_13 -r -P9999 SERVER=yysh ADMIN=ysato
#### loading default conf: /home/ysato/delegate/dg9_9_13/DGROOT/bin/./dg9_9_13.conf
"/home/ysato/delegate/dg9_9_13/DGROOT/act/pid/9999": kill(1105,SIGTERM) = 0 (0)
** OK *** (0.07/1)
<DeleGate/9.9.13> [1107] -P9999 READY
_execPath=/home/ysato/delegate/dg9_9_13/DGROOT/bin/./dg9_9_13
Config: Linux/2.4.2-2; FileSize-Bits=32/64,32/32,32,32; socket=07380/16384,++NAT
; sockpair=65535/65535,1002++U; char=signed; fcF=B; thread=PThread/pthread,44/128;
zlib=56,312364; pam=3; stty=tcsetattr/termio; regex=regex; add=A/8082B24/BFF
E0A60; fmem=38/62/249M
DGROOT=/home/ysato/delegate/dg9_9_13/DGROOT
ADMIN=ysato
AIST-Product-ID: 2000-ETL-198715-01, H14PRO-049, H15PRO-165, H18PRO-443
Copyright (c) 1994-2000 Yutaka Sato and ETL,AIST,MITI
Copyright (c) 2001-2014 National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST)
BLDSIGN=9.9.13:20141031100424+0000:49bdc47da013424a::-
HostID: 2020/10/15/05/14-A9 (Linux/2.4.2-2) localhost.localdomain
Loaded: OpenSSL 0.9.6 24 Sep 2000
Loaded: Zlib 1.1.3
[ysato@localhost bin]$
```

社長：yyshクライアントの接続オプションは -Fyysh host:9999 で。

基盤：ログイン… そんな端末は知らないと。

開発：当然 vt100でしょう。

基盤：指定して再ログイン…



```
_execPath=/home/ysato/delegate/dg9_9_13/DGROOT/bin/./dg9_9_13
Config: Linux/2.4.2-2; FileSize-Bits=32/64,32/32,32,32; socket=87380/16384,++NAT
; sockpair=65535/65535,1002++U; char=signed; fcF=B; thread=PThread/pthread,44/12
8; zlib=56,312364; pam=3; stty=tcsetattr/termio; regex=regex; addr=A/8082B24/BFF
E0A60; fmem=38/62/249M
DGROOT=/home/ysato/delegate/dg9_9_13/DGROOT
ADMIN=ysato
AIST-Product-ID: 2000-ETL-198715-01, H14PRO-049, H15PRO-165, H18PRO-443
Copyright (c) 1994-2000 Yutaka Sato and ETL,AIST,MITI
Copyright (c) 2001-2014 National Institute of Advanced Industrial Science and Te
chnology (AIST)
BLDSIGN=9.9.13:20141031100424+0000:49bdc47da013424a::-
HostID: 2020/10/15/05/14-A9 (Linux/2.4.2-2) localhost.localdomain
Loaded: OpenSSL 0.9.6 24 Sep 2000
Loaded: Zlib 1.1.3
[ysato@localhost bin]$ ./sbin/ifconfig eth0
eth0      Link encap:Ethernet  HWaddr 00:0C:29:F1:EB:2A
          inet addr:192.168.254.130  Bcast:192.168.254.255  Mask:255.255.255.0
          UP BROADCAST RUNNING MULTICAST  MTU:1500  Metric:1
          RX packets:2954 errors:0 dropped:0 overruns:0 frame:0
          TX packets:1158 errors:0 dropped:0 overruns:0 carrier:0
          collisions:0 txqueuelen:100
          Interrupt:7 Base address:0x2000

[ysato@localhost bin]$ _
```

```
ysato — ysato@localhost.localdomain: /home/ysato — yysh 192.168.254.130:9999
iMac%
iMac% dg -Fyysh 192.168.254.130:9999
unknown terminal "xterm-256color"
unknown terminal "xterm-256color"
[ysato@localhost ysato]$ exit
exit

iMac% TERM=vt100 dg -Fyysh 192.168.254.130:9999
[ysato@localhost ysato]$
```

基盤 : OK。で macOS の Terminal で ISO-2022-JP を設定。vin を起動…

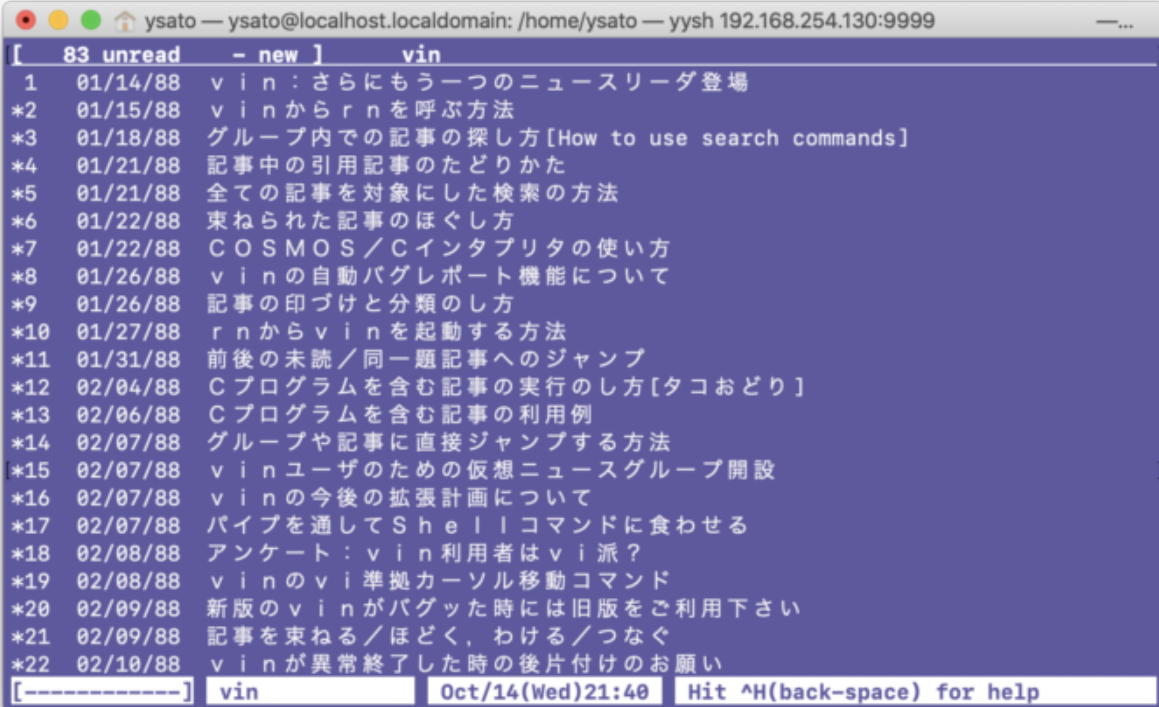
```
ysato — ysato@localhost.localdomain: /home/ysato — yysh 192.168.254.130:9999
[ 84 unread - new ] vin
*[ 1-72 ] 88-01-91-04{1201} ( 72/72 ) |||||---
*73 04/30/91 複数種類の記事マーク(Mコマンドの仕様変更)
*74 06/17/91 複数の記事へのfollowup/reply
*75 09/18/91 KILL機能
*76 02/01/92 複数の記事を並行して編集する
*77 02/21/92 親子グループ間のフラグの継承を抑制する(iフラグ)
*78 06/11/92 メールの転送経路の表示
*79 06/11/92 深いグループを浅いところにポップアップする(pフラグ)
*80 07/11/93 他の記事の一部を取り込むには(xa,xA)
*81 09/02/93 vinでメールだけを読むには(-n オプション)
*82 09/10/93 グループリストのfold/unfold(Fコマンド)
*83 09/30/93 バックグラウンドでポスト
*84 02/04/94 グループのマークとマスク(Mコマンド)

[-----] vin Oct/14(Wed)21:37 Hit ^H(back-space) for help
```

全員：おおーっ。

社長：懐かしすぎる…

基盤：最初の記事は 1988年1月14日付けです。



```
[ 83 unread - new ] vin
1 01/14/88 vin: さらにもう一つのニュースリーダ登場
*2 01/15/88 vinからrnを呼ぶ方法
*3 01/18/88 グループ内での記事の探し方[How to use search commands]
*4 01/21/88 記事中の引用記事のたどりかた
*5 01/21/88 全ての記事を対象にした検索の方法
*6 01/22/88 束ねられた記事のほぐし方
*7 01/22/88 COSMOS/Cインタプリタの使い方
*8 01/26/88 vinの自動バグレポート機能について
*9 01/26/88 記事の印づけと分類のし方
*10 01/27/88 rnからvinを起動する方法
*11 01/31/88 前後の未読/同一題記事へのジャンプ
*12 02/04/88 Cプログラムを含む記事の実行のし方[タコおどり]
*13 02/06/88 Cプログラムを含む記事の利用例
*14 02/07/88 グループや記事に直接ジャンプする方法
*15 02/07/88 vinユーザのための仮想ニュースグループ開設
*16 02/07/88 vinの今後の拡張計画について
*17 02/07/88 パイプを通してShellコマンドに食わせる
*18 02/08/88 アンケート: vin利用者はvi派?
*19 02/08/88 vinのvi準拠カーソル移動コマンド
*20 02/09/88 新版のvinがバグった時には旧版をご利用下さい
*21 02/09/88 記事を束ねる/ほどく, わける/つなぐ
*22 02/10/88 vinが異常終了した時の後片付けのお願い
[-----] vin Oct/14(Wed)21:40 Hit ^H(back-space) for help
```

開発: yet another というフレーズが脳内に残ってた時期ですね。

社長: まああのころすでに、ニュースリーダは出尽くしてた感がありましたし。

基盤: というか、さっきから応答が無くなったりして変なのですが。

開発: macOSのターミナルのISO-2022-JPは前から怪しいです。vinの出力を8ビットコードに出来ますよね。

社長: というか、yysh のオプションにあります。-ju でEUCに変換。

基盤: ターミナルをEUC-JPにして、yysh -ju で再度ログイン。あー、サクサクになりました。

基盤: 最初の記事、月火水木ってこれ丸数字ですかね？

```

ysato — yysh 192.168.254.130:9999 — 80x36
1: ysato 88-01(木) v i n : さらにもう一つのニュースリーダー登場
From: ysato@etlcom.etl.JUNET (Yutaka Sato)
Newsgroups: etl.lectures
<ShowPath> posted: 01/14-05:09 received: 01/14-05:09 2583 Bytes / 49 Lines

newsreader は忘れたころにやってくる... :-)
"vin" という名前の画面指向 newsreader を作りました。特徴は、

(日) ニュースをグループ構造に従って階層的に見られる
(月) 記事中から参照している記事を簡単に呼び出せる
(火) 既に読んでしまった記事を探して読み直すのが簡単
(水) viと同じカーソル/画面移動や検索コマンドが使える

などです。pathは、
/usr/local/BIN/vin
です。      ^^^

vinは、私の他に、田代さん@論理、村木クン@画像、他数人の
方に数か月間試用してもらっていますので、ひどいバグはないと思います。
なお、vin は newsreader ですので、投稿の機能はありません :-)
      ^^^^^^

rnを使っていて、(月)や(火)が欲しい時にだけでも利用していただくと
嬉しいです。コマンドは画面の一番下のヘルプ行に表示されますし、
簡単なオンラインマニュアルもあります。

                                佐藤@ぶろぐらむ

--- 使用例 ---

vin を起動すると、最初に次のような画面があらわれます。

(23862/24467) +17369 comp
( 4435/ 7036) +1123  fj
(    0/ 1695) +0      <read_groups> (5)
(32489/37408) +25502 <newsrc_order>
[-----]  vin:1 (54)      Oct/14(Wed)21:52  Hit ^H(back-space) for help

```

社長：yyshに入力コードを明示指定してないからですかね。

基盤：この時点で数ヶ月と書いているので、作り始めたのは入所した年の中頃ってことでしょうか？

社長：まあ新人なりのプレッシャーは大きかったですが、自由にやらせてもらえてましたね。ちなみにこの「@ぶろぐらむ」というのは所属研究室の名前です。ソフトウェア部プログラム研究室(^-^)

基盤：記事中のCプログラムを実行する例がこれですね。タコ踊りをぽちっと。

```

ysato — yysh 192.168.254.130:9999 — 80x36

記事の中に含まれるCプログラムを、vinで実行できるようにしました。
以前から能動的なメールを送ってみたい、と考えていましたところ：

In article <5730@etlcom.etl.JUNET> 半田さん@ E T L writes:
>>>>-----_---、%
>>>>%% =====& %
>>>>株式会社 創夢 西川 正樹 % % |n n | %
>>>> (またの名を、たこまさ) % o= / %
>>>>masa@soum.junet ~~~ ~~~ ~ ~~~ ~~~~ ~~~
>>>
>>>>たこマークに象印賞が出ました。審査員の先生のお話では、はちまきの&が
>
>確かに素晴らしい！ また象印賞をこの作品に選定された審査員の見識にも拍手！
>つまらないものですが、以下の賞品をお受け取り下さい。
>Nemacs で、下の部分に region をセットして、M-x eval-regionを行って下さい。
[以下略]

うーん、素晴らしい！！。私もこれをやりたかったのです！ そこで
さっそく、vin からCのインタプリタを呼出せるようにしてみました。
vin で下の行の[c]_にカーソルをおいて、'i'を打ってみて下さい :-)。

[c]_
/*
以下のプログラムは、<5730@etlcom.etl.JUNET> で半田さんの
書かれた Emacs-lispプログラムを一部簡略化して、Cosmos-C:-)
で書き直したものです。（半田さん、無断借用してごめんなさい）
*/
int 表示行 = 10;
int 表示列 = 10;
EXECUTING statements in 'c' ...
((Segmentation fault,0,0,2b))

##### BUG BUG BUG BUG BUG BUG #####
Sorry, I am a BUG living in cosmos :-0
I want to send my BUG-REPORT to the author, OK ? (y:yes n:no) :

```

基盤：死にました。

社長：ああ、たぶん自作の動的リンク部分が86とかに対応してないんですね。VAX 用に作ってSunにも移植したんだと思いますが、Linux とか用には対応しなかったと思います。というか、a.out形式用だったような。

開発：でも何も死ななくてもw

社長：当時の私のプログラムは死ぬの普通で、adb か dbx でコアダンプを解析してメールが来るようにしてました。それはDeleGateにも引き継がれました。

基盤：死ぬ原因は？

社長：まあ非同期処理の問題もあるにはありますが、ほとんど型の不一致とか初期化忘れとかポインタのリンク切れだったように思います。ダングリング。ほとんどのバグは、ANSI以降のCであれば未然に防げたり、Goのような言語ならそもそも要らないコードだったりします。

開発：ということは、マンデルブローのデモプログラムも死ぬわけですね？

社長：たぶん。

基盤：といたしますか、vin の説明記事の中にはマンデルブローの例が無いですね。

社長：vin-MLの方に出したのかな？・・・うーんマンデル、とかしょうもない駄洒落を付けてどこかに出したのは覚えているのですが… 当時の record か posted にあるのではないかと。探してみます。

* * *

基盤：見つかりましたか？

社長：いや、それより、昔ネットニュースに投稿した記事を読んでたらおかしくて。20年前に書いたのを、昨日のように覚えているのが結構あります。電総研の最後の頃は、fj.jokes にばかり書いていたようです。自分ウケでしたね。当時から私の笑いのツボは全然変わってなくて、今も自分で読んで笑ってしまいます。

社長：あと、私のメールフォルダに残っている最古のメールは、1987年の5月のものでした。新人研修が終わって研究室に配属になった頃かと思います。友人からガレーゼールのお知らせ。

```
From daemon Mon May 18 14:54:21 1987
Received: from SLM7.ETL.JUNET (etlslm) by etlcom.etl.junet (3.2/6.2Junet)
        id AA07232; Mon, 18 May 87 14:54:17 JST
Message-Id: <8705180554.AA07232@etlcom.etl.junet>
Received: from ACVAX.ETL.JUNET by SLM7.ETL.JUNET via CHAOS with CHAOS-MAIL id 5133;
Mon 18-May-87 14:55:19-JST
Date: 18 May 87 14:55:19 GMT
From: Tashiro <TASHIRO@ACVAX>
To: ysato%etlcom@slm7
Status: RO
```

開発：Status: RO は mail コマンドで読んだ印ですよ。

基盤：シンプルなヘッダーですね w

開発：現在から考えれば、あの頃はあらゆるものがシンプルでした。とりあえず作ってみました動きますけど的なの。

社長：部品や機械がシンプルなぶん人間の負担は大きかったですね。標準化されていないネジみたいなのをめいめいで作っちゃって売りさばいちゃって。さっきのLinuxのインストールにしたって今は全くばかちゃんですが、昔は結構大変だったんです。

基盤：でもトルクスネジはカッコいいですよ。

社長：あれは良いものですよ。あの選択に関してはアップルは正しかったと思います。

開発：でも実用的に何か役に立ったのかというと。ただの美的こだわりにも思えますけどね。

基盤：そもそもユーザにはネジに触れさせない主義ですしね。

社長：ネジはまだましなほうで、一般に本質的に良いもの、そうあるべきものって、認められるのに時間が掛かる傾向があるように思います。

開発：まあハードウェアの標準化が進んでなかったっていう所はすごく大きいですよ。そこに付け入って大きくなっちゃったOS会社とかありましたけど。

社長：とは言えアップルも癖のある問題児だし、Linuxはなんとなくぱっとしないし、スマホやタブレット系のOSは本流では無いと思うし。

開発：そうこうするうちにOSがソフトのハブとか基盤みたいな時代は終わりつつあるのかもしれないですね。もう、アプリしか無い世界。詰め合わせ自由。どこでも動く。

基盤：要するに標準ウェブ技術ですね。

開発：それにしたって最終のものじゃないとは思いますが。どう見たって今のこの仕

様。いろんな言語もあったねよねーみたいな。

社長：OSの終焉かぁ… Unix育ちOS研究室出身だと思っている身としては寂しい気がしますね。

開発：まあOSとか、そもそも名前がださいっちゃあダサイですね。

社長：それをいうなら、コンピュータてのがそもそもダサイです。

基盤：やっぱエンジンとかマシーンとかがカッコいいですよ。

* * *

開発：そういえば小腹もすきました。一昨日の野菜が悪くならないうちに、野菜炒めにしましょう。野菜をちぎって炒めるだけ、じゃーっと。あちっ。ネギ炒めは油が飛びますね。できました。

基盤：これ、このキャベツ、めっちゃ美味しいですね。はぐはぐ。めっちゃ美味しい・・・

開発：いや、泣くほどのことでは無いのではと。もぐもぐ。

社長：半かけで100円しませんでしたしね。お値打ちです。それよりもネギのこのぷりぷりっぷりが素晴らしい。

基盤：でもこのキャノーラ油とは香りがマッチしないような。菜種油とか？

社長：なたねの事みたいですね。ノーキャラですかみたいな。もぐもぐ。あちっ。

開発：熱した時に野菜の香りを邪魔しない油ってあるんですかね？

基盤：鉱物油なら高温無臭もありそうな気がしますが。

社長：いっそパンチを効かせるのにごま油とかラードを隠し味的に使うとよいのかも。

開発：キャベツ系って、ほどよく熱するといい味と匂いを出しますよね。すましたレタ

スのツンデレ風とか。

社長：自然界では何千万年も、そういう食べられ方を想定して進化したり選択淘汰されて来なかったと思うので、面白いです。

基盤：でもこのほうれん草って、昔のより味が薄いというかサラダっぽい感じがします。こんなんでおひたし化に耐えるんでしょうか？

開発：これを缶詰にしようっていう発想がどこから来るものかと。

社長：素材的にオリーブと合うんでしょうかね。

基盤：カブとかレタスの缶詰くらい奇天烈ですよ。

開発：まあ圧縮が効くからなんでしょうけど。

社長：次は是非鍋をやりましょう。なんといっても白菜としいたけとしらたきです。

開発：春菊としめじと、もちろんネギもお忘れなく。

基盤：お豆腐とタラもお願いします。

-- 2020-1014 SatoxITS